

ロータリー米山奨学生学友会(関西) 2010年度総会及び新規奨学生歓迎会報告

米山奨学委員会

委員 大西 寛治
(大東RC)

日時：2010年7月18日(日) 15:30～18:30

会場：リーガロイヤルホテル 菊の間

参加者：元米山奨学生 16名

新規奨学生 30名

カウンセラー 36名

地区関係者 9名

学友会主催のロータリー米山奨学生学友会(関西)2010年度総会及び新規奨学生歓迎会が近藤雅臣RI理事、磯田郁子地区米山奨学委員会委員長はじめ地区委員、世話クラブカウンセラーも参加し盛大に開催されました。

学友会とは、奨学期間を終了した元奨学生と現役奨学生によって組織される会です。

現在、日本に27団体、海外に3団体の計30学友会が組織されています。学友による自主的な運営を尊重し、ロータリアンや米山記念奨学会がこれを支援します。第2660地区では関西学友会が組織されています。

朴日会長の金銭面の支援だけでなく、カウンセラー制度で学業に専念できた事と、米山奨学制度へのお礼から始まり、国際親善及び世界平和への寄与、米山記念奨学の事業の発展に寄与などの挨拶をされ開会いたしました。

来賓を代表して近藤雅臣RI理事が、海外米山学友会や東京に学友会のロータリークラブが誕生した事など

挨拶をされました。

議事に入り、2009～2010年度の事業報告(案)そして会計報告(案)が満場一致で承認されました。これで一部総会が終了し、二部の歓迎会懇親会に入りました。

磯田郁子米山奨学委員会委員長の祝辞、村橋義晃前委員長の乾杯の発声で開宴しました。しばらくして、新規奨学生とカウンセラーの各一分程度の自己紹介がありました。当初、司会者から一分程度と言われておりましたが、皆様熱心で時間をオーバーして親子の様なカウンセラー関係を発表しておられました。最後に元学友会会長から例会だけでなくクラブの行事にも積極的に参加し、多くのロータリアンと接する事でより充実した留学生活を送れますと閉会の挨拶がありました。

参加して米山記念奨学制度の素晴らしさを再認識できた一日でした。全国のロータリアンからの寄付金を財源としています。寄付金・世話クラブ・良きカウンセラーが日本と世界を結ぶ懸け橋です。より一層のご理解をお願いして報告といたします。

